

## 第 3 9 5 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 8 年 6 月 6 日 ( 月 ) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 5 時 2 5 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出 席 者 中 井 学 長、中 田 理 事 ( 副 学 長 )、三 浦 理 事 ( 副 学 長 )、  
小 沢 理 事 ( 副 学 長 )、若 井 理 事 ・ 事 務 局 長  
【オブザーバー出席】真田副学長、千葉副学長、上井監事、橋本監事
4. 審 議 事 項
  - ( 1 ) 平 成 2 8 年 6 月 期 期 末 特 別 手 当 に 係 る 役 員 の 業 績 評 価 に つ い て 資 料 1
  - ( 2 ) 平 成 2 7 年 度 決 算 に つ い て 資 料 2
  - ( 3 ) 平 成 2 7 事 業 年 度 及 び 第 2 期 中 期 目 標 期 間 に 係 る 業 務 実 績 報 告 書  
に つ い て 資 料 3
  - ( 4 ) カ ー ロ リ ・ ガ ー シ ュ パ ー ル ・ カ ル ビ ン 派 大 学 ( ハ ン ガ リ ー ) と の  
協 定 締 結 に つ い て 資 料 4
  - ( 5 ) そ の 他
5. 報 告 事 項
  - ( 1 ) 平 成 2 7 年 度 期 末 監 事 監 査 結 果 に つ い て 資 料 5

### 【確認事項】

第 3 9 4 回 役 員 会 議 事 要 録 を 確 認 し、原 案 の と お り 承 認 さ れ た。

### 【審議事項】

- ( 1 ) 平 成 2 8 年 6 月 期 期 末 特 別 手 当 に 係 る 役 員 の 業 績 評 価 に つ い て  
中 井 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、資 料 1 に 基 づ き、平 成 2 8 年 4 月 よ り 役 員  
等 の 業 績 評 価 方 法 が 改 正 さ れ、こ れ に 伴 う 6 月 期 の 学 長 及 び 常 勤 理 事 に 係 る 業 績 評 価  
に つ い て 説 明 が あ っ た。  
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て、経 営 協 議 会 の 議 を 経 る こ  
と が 確 認 さ れ た。
- ( 2 ) 平 成 2 7 年 度 決 算 に つ い て  
若 井 理 事 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、資 料 2 に 基 づ き、平 成 2 7 年 度 決 算 に 係 る  
財 務 諸 表 等 に つ い て 説 明 が あ っ た。  
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て 経 営 協 議 会 の 議 を 経 て 教  
育 研 究 評 議 会 に 報 告 す る こ と が 確 認 さ れ た。

(3) 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務実績報告書について

中田理事より標記について提案があり、資料3に基づき、全体構成、記載内容、本報告書における評価方法及び今後のスケジュールについて説明があった。併せて、今後も関係各課と調整の上修文を重ねることの補足説明があった。

審議の結果、今後の手続きとして、経営協議会（平成28年6月7日開催）及び教育研究評議会（平成28年6月10日開催）の議を経ること、同評議会後に学内パブリックコメントを募集すること、併せて、各理事・副学長も担当部分を最終確認すること、これらの手続きに伴う修正内容を反映し、役員会（平成28年6月20日開催）において最終決定すること、最終決定した内容が経営協議会に提示した内容から大きな修正がある場合には改めて経営協議会の書面審議を行うことを確認した。

(4) カーロリ・ガシュパール・カルビン派大学（ハンガリー）との協定締結について

真田副学長より標記について提案があり、資料4に基づき、本協定の交流目的として、本学日本語教員養成課程の学生を日本語教育の実習先として派遣することに特徴があるとの説明があり、詳細については国際交流センターから説明するとの発言があった。

続いて、国際交流センターより、カーロリ・ガシュパール・カルビン派大学の概要、協定内容等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(5) その他

なし。

**【報告事項】**

(1) 平成27年度期末監事監査結果について

上井監事より標記について報告があり、資料5に基づき、監査方法の概要、監査の結果、その他の報告事項として福島大学の注目すべき取組及び意見について説明があった。

本議題は、経営協議会及び教育研究評議会に報告することが確認された。